



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2011年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

内閣不信任案 否決

菅首相 大量造反は回避 退陣表明

衆院は2日午後の本会議で、自民、公明、たちあがれ日本の3党が提出した内閣不信任決議案を賛成152、反対29

3で否決した。菅直人首相はこれに先立って民主党代議士会で東日本大震災復興、福島第1原発事故対応に一定のめど



衆院本会議で内閣不信任案が否決され、一礼する菅首相＝2日午後

がついた段階で退陣する意向を表明。これを受け、不信任案賛成の意向だった鳩山由紀夫前首相らが反対に転じた。

震災復興や原発事故の収束が喫緊の課題の中で、不信任案が可決されれば、憲法の規定に基づき首相は10日以内に衆院解散・総選挙か、内閣総辞職を決断する必要があった。首相の退陣表明を踏まえ、民主党内で不信任案可決による震災

対応への影響を懸念する声が強まり、大量造反は回避された。ただ、今後「ポスト菅」をめぐる駆け引きが活発化するのは必至だ。

首相の進退をめぐるっては、5月31日夜に会談した鳩山氏が退陣を要求。小沢一郎元代表は1日夜、記者団に「国民が支持してくれなかった民主党に戻さなくてはいけない」と不信任案に賛成する意向を表明していた。